

プロシーディング

チタン製ピアスによる金属アレルギー対策

高橋知之* 高橋眞理子*

要旨 上皮化していないピアス孔に長期間ピアスをつけていると純金にさえも感作されることわかってきた。

我々は医療用ステンレスを窒化チタン鍍金したロングタイプの穴あけ専用ピアスを、金アレルギーがある患者に使用して良好な結果を得たので報告する。

高橋知之, 高橋眞理子: Skin Surgery: 2: 62-63, 1993

キーワード ピアス式イヤリング, 金属アレルギー, 窒化チタン鍍金

はじめに

ニッケルやコバルトをアレルギーとする金属アレルギーはよく知られているが、ピアス式イヤリングの普及に従って純金に対するアレルギーも稀ではないことがわかってきた。

チタンは非常に耐蝕性に優れた金属で通常環境ではイオン化せず、従って化学鍍金はできない¹⁾。従来の穴あけ専用ロングスタッドをイオンプレATINGという特殊な方法で窒化チタン鍍金した製品(以下、チタンスタッド)を用いて良好な結果を得たので報告する。

対象および結果

1992年5月および6月の2ヵ月間に当院にてチタンスタッドを用いてピアッシングした症例と、純金鍍金した通常長のスタッドおよびロングスタッドを用いてピアッシングした症例とを比較した。

チタンスタッドでは1.4%にピアス皮膚炎が発生し、これらはタオルでスタッドを引っ掛けたりした物理的原因に起因するものであった。一方純金鍍金した通常長のスタッドでのピアッシングでは3.2%に、純金鍍金したロングスタッドでは2.0%にピアス皮膚炎が発生した。純金鍍金したロングスタッドで皮膚炎を起こした4例のうち2例は過去にピアッシングに失敗した既往歴があり、パッチテストで金に陽性であった。またこれらの症例は金製の指輪やネックレスでは皮膚炎を起こした既往歴はなく、自分が純金によるアレルギーがあることをパッチテストによって初めて知ったとのことである。

考察

チタンスタッドは金属アレルギーを有する人にはすばらしい結果をもたらしたが、金属アレルギーを持たない人には純金鍍金したスタッドと差はなかった。

チタンスタッドの欠点は、色調が悪い、コストが高い、の2点である。

すべての人がチタンスタッドを用いてピアッシングするのが理想ではあるが、全く初めてピアッシングする人で耳垂の薄い人は通常長の、

*Tomoyuki TAKAHASHI, M.D.
Mariko TAKAHASHI, M.D.
高橋医院
〒170 東京都豊島区東池袋 1-5-6
受理 1993年5月8日